

平成26年度熊本県商店街実態調査（基礎調査）結果

○ 商店街実態調査1について

1 調査目的及び調査内容

商店街振興施策を進めるうえで必要な基礎的情報として、県内商店街の実態及び経年変化を把握する目的で実施。

毎年、3月末日現在の県内商店街の空き店舗数等の基礎的な数値を調査（基礎調査）。

3年に1回、上記調査（基礎調査）に加え、より詳細な実態を把握する調査（実態調査）を行う（前回実態調査は平成25年度に実施）。

2 調査対象

15店舗以上の商店主等で構成される商店街振興組合、繁栄会等の団体、また、組織体制はないが近接する15店舗以上で形成されている街区。

3 調査時点

平成26年3月31日

4 調査方法

市町村及び商工団体等の協力のもと、平成27年2月～3月に調査を実施。

5 回収率

95.7%（調査対象の187商店街のうち、179商店街から回答があった）

○ 調査結果

集計区分：県内商店街を次の4つに区分して集計

① 熊本市熊本地区及び植木地区の認定中心市街地に所在する商店街(32)

② 八代市の認定中心市街地に所在する商店街(5)

③ 山鹿市の認定中心市街地に所在する商店街(7)

※認定中心市街地…平成18年改正後の中心市街地活性化法に基づく活性化計画の認定を受けた地域。

④ 上記以外の商店街(143)

◇空き店舗率

11.6%

（対前年度比+0.2ポイント）

◇新規出店率

3.0%

（対前年度比-0.1ポイント）

◇閉店廃業率

3.5%

（対前年度比+0.1ポイント）

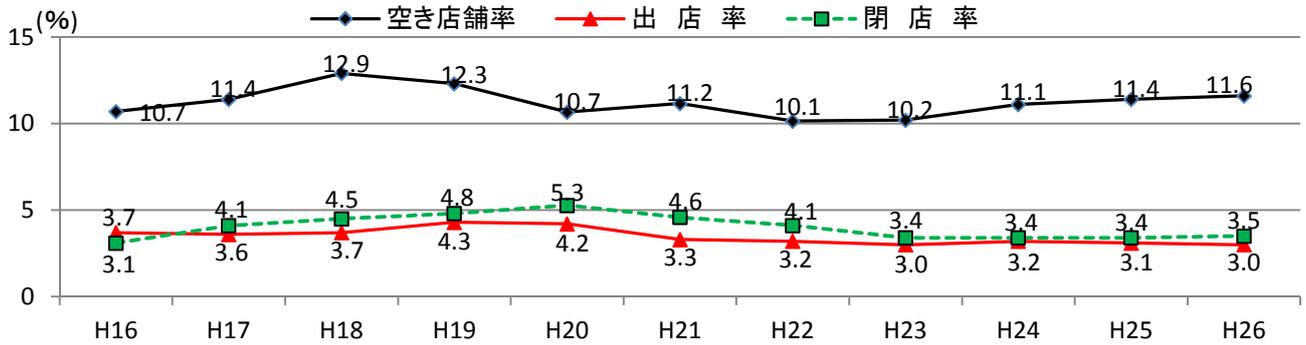
① 空き店舗率：空き店舗数／総店舗数

② 新規出店率：出店数／店舗数

③ 閉店廃業率：閉店数／（店舗数－出店数＋閉店数）

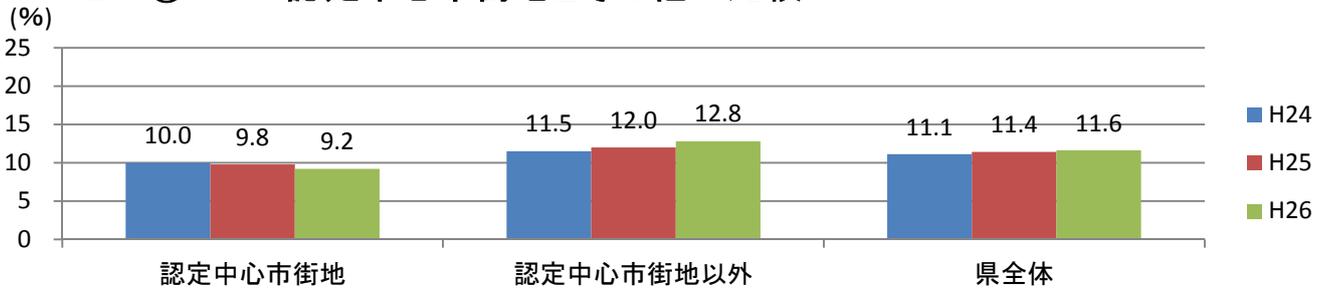
- ・ 空き店舗率は昨年に続き上昇し、平成24年度から11%台で推移している。
- ・ 新規出店率は微減、閉店廃業率は微増している。
- ・ 空き店舗率では、認定中心市街地で3年連続の低下、認定中心市街地以外では3年連続上昇している。
- ・ 出店率は、熊本市内では3年連続の低下、熊本市外では3年連続の上昇。

1. 基礎指標の推移

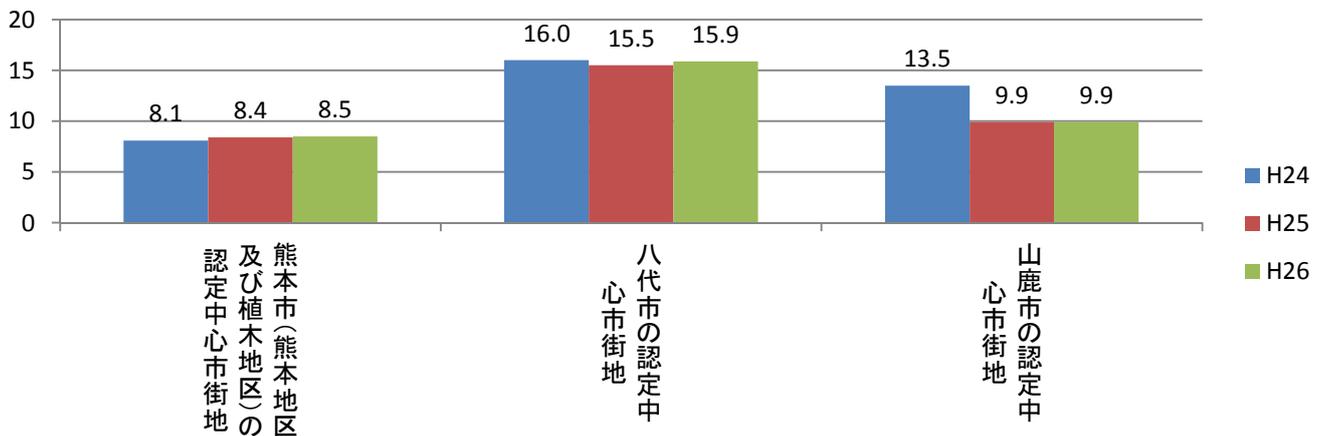


2. 空き店舗率の推移

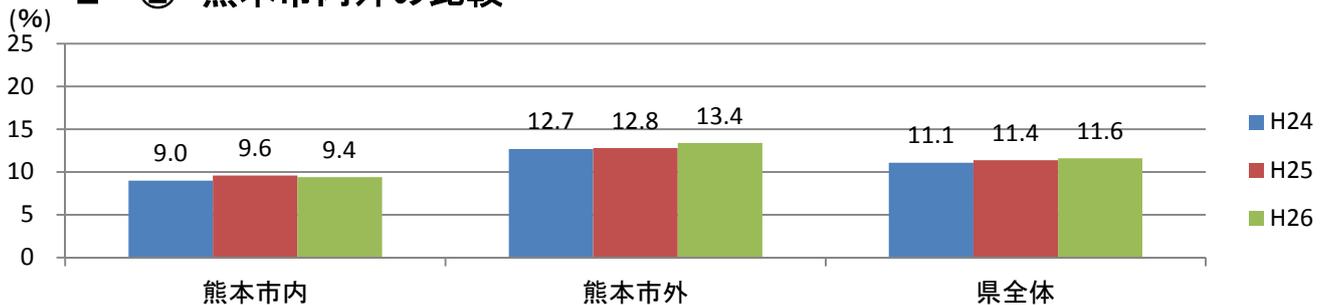
2-①-i 認定中心市街地とその他の比較



2-①-ii 認定中心市街地別の比較

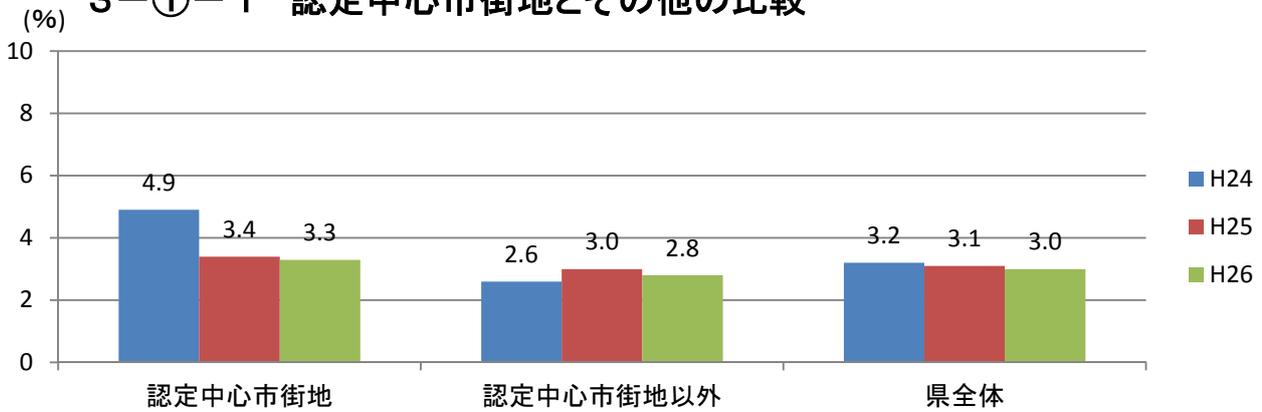


2-② 熊本市内外の比較

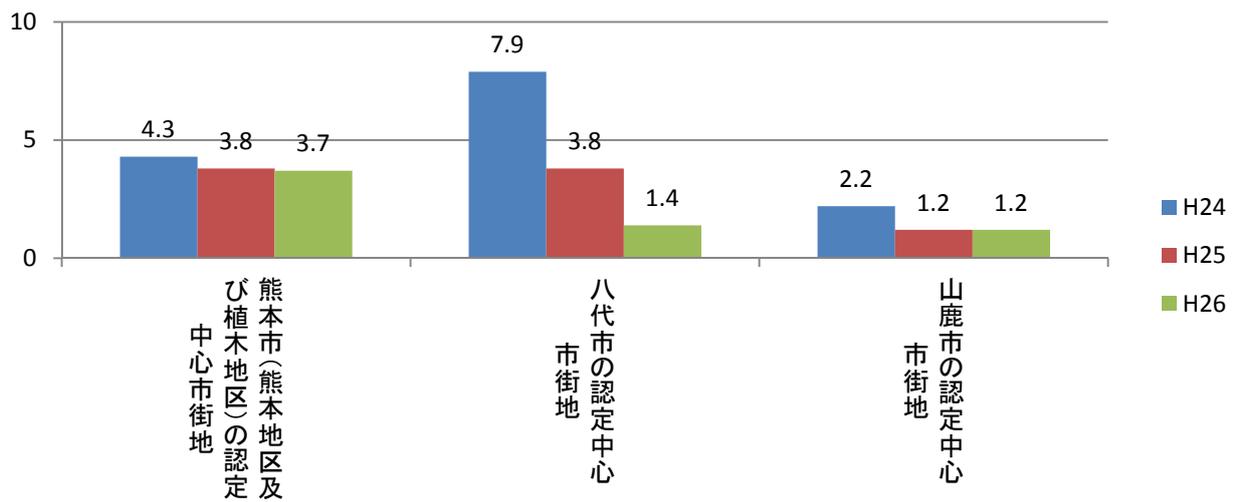


3. 出店率の推移

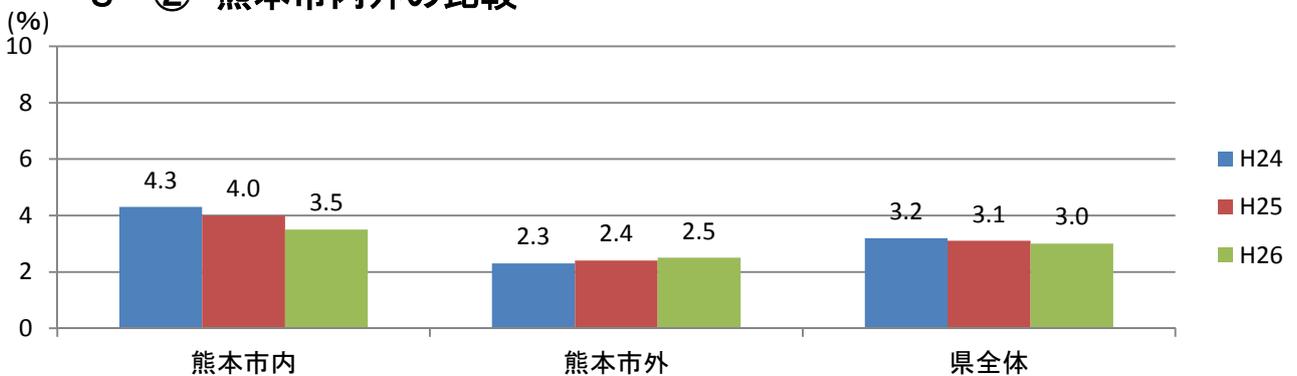
3-①-i 認定中心市街地とその他の比較



3-①-ii 認定中心市街地別の比較

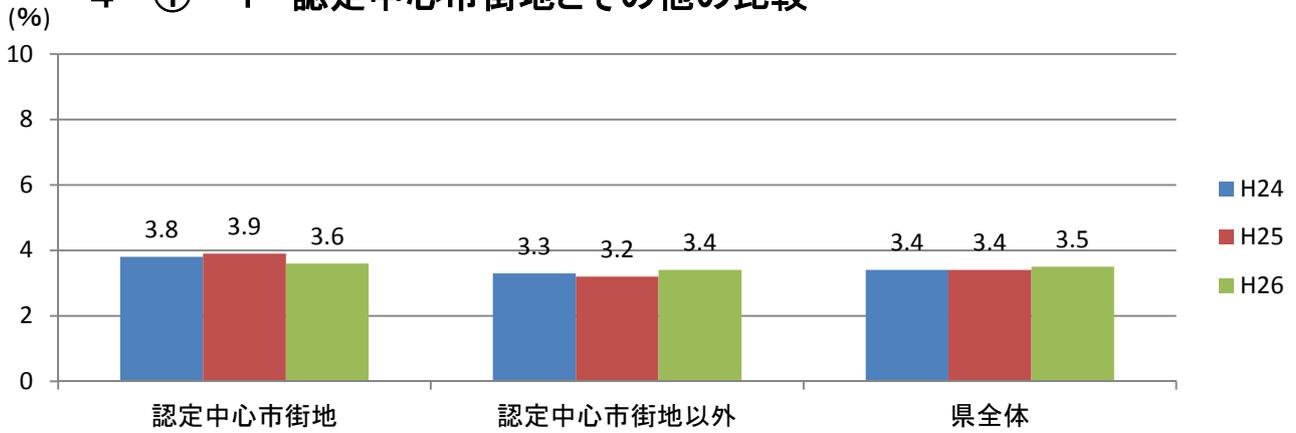


3-② 熊本市内外の比較

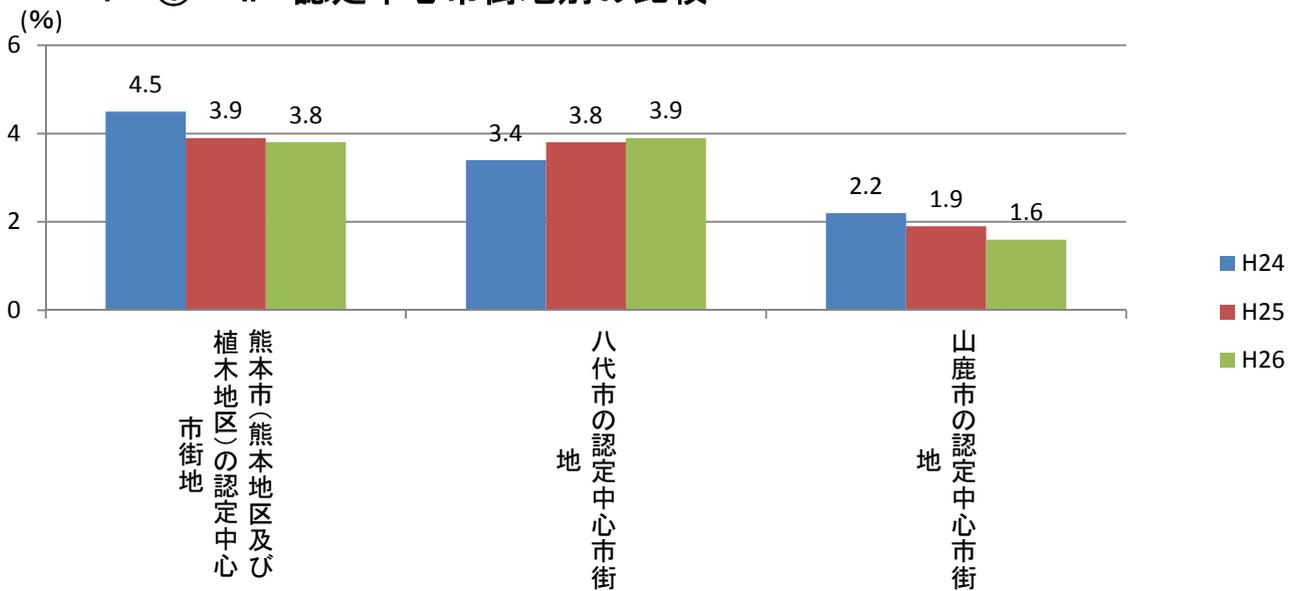


4. 閉店廃業率の推移

4-①-i 認定中心市街地とその他の比較



4-①-ii 認定中心市街地別の比較



4-② 熊本市内外の比較

